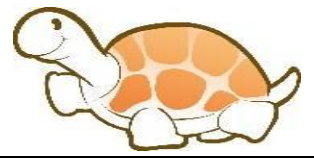


# のこのこたより



令和 3年 4月 第72号

社会福祉法人晃宝会

特別養護老人ホームあじさい園 宝

住所：奈良市南肘塚町99番1

電話：0742-24-0878 fax：0742-23-0373

## 令和三年度 事業計画

令和二年は新型コロナウイルス感染症への不安をもちながら、職員一同、組織として個人として一生懸命にとりくみました。その中でも笑顔をやさず平常心で、明るい日常生活をご利用者と共に、過ごすことができておりますことに、心より感謝申し上げます。状況はめまぐるしく、変化していくことも事実ですが、変わらぬおだやかに、お過ごしいただけるよう、令和三年度の目標を「美しい言葉と笑顔で向き合おう」とし、職員一同とめてまいります。

### 1、地域社会への貢献

地域共生社会の実現に向けて、地域包括ケアシステムを推進するため、施設サービス、在宅サービス、それぞれの事業所つよみを生かし、地域住民の方々とさらに信頼関係を構築してまいります。晃宝会として、地域の潜在的ニーズ、顕在的ニーズにしっかりと向きあい、積極的に役割を果たします。

### 2、感染症や災害への備え

新型コロナウイルス感染症等の感染症対策の徹底や地域と連携した災害への備えをさらに強化していきます。委員会活動や、各事業所間連携、関係機関からの情報収集を行い、研修会や実際の想定訓練を通して学んだことを共有、感染症や災害等への対応力強化を図ります。

### 3、多様化への対応

長年の実績や経験をもとに、さらに質の高いサービス提供を行うために、オンライン等の研修機会を増やし、知識や技術のみならず人間力の向上をめざします。多種多様化する要支援要介護高齢者の方々のニーズにできる限りよりよい、あたたかみのあるサービス提供を行い、ご満足いただけるようとめます。

### 4、学ぶ意欲を大切にする働きやすい職場づくり

学ぶ意欲を向上するためには、自己覚知を行い、目標を持ち、その目標を職員で共有し、お互いにはげましあうことが大切です。理念に沿って質の高いサービスが提供できるよう、目標達成に向けて職員への支援を行います。ロボットやICTの活用により業務効率化、負担軽減につとめ、職員が自己の役割や責任を認識、協調性や積極性が発揮される働きやすい職場環境をととのえます。

### 5、施設の整備や拡充

平成8年開園のあじさい園においては、年々改修箇所も増えていきます。ご利用者に日々快適にお過ごしいただけるよう、ひとつひとつの課題に丁寧にとりくみます。また緊急時には、ご利用者、職員への不安や不自由解消を第一に、早急に対応します。

### 6、法人運営の基盤強化

法人運営の基盤強化を図るため、安定的な収入の確保につとめ、一方で経費削減を図るなど、バランスのとれた適正な収支の維持にとりくみます。地域のニーズに応じ、地域貢献につながる、新規事業の計画を行い、法人の安定的な運営につとめます。

ボランティアさんからいただいた手作りのお雛人形を飾らせていただきました。小さくて思わず手に取ってみたいくなるようなかわいなお雛様をご利用者様は、笑顔で眺めておられました。



本日のおやつ時間は、みんなでクレープを焼きました。具材のイチゴやバナナを切ったり、クレープ生地を混ぜて作りました。



### 4月行事予定

3日：晃宝会 25周年祝  
15日：お誕生日会 15:00  
19日：宝6周年開園記念祝  
にぎいずし

お雛祭りのお祝いをしました。特別献立の色鮮やかなえびと穴子の散らし寿司やお雛様饅頭を美味しくいただきました。

好きな具材を包んで「いただきます」甘いクレープも美味しいけれど、ツナとマヨネーズのおかずクレープも美味しいとの声が多かったです。ご利用者様にとって楽しい午後のおやつタイムとなりました。



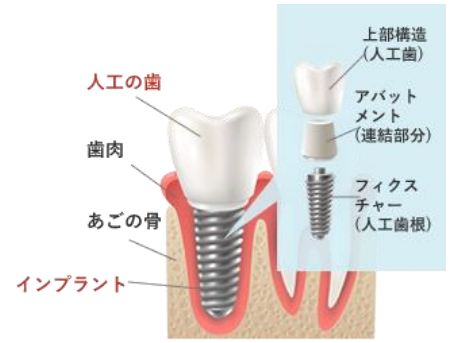
いつもご協力、ご支援ありがとうございます。新型コロナウイルスの影響により、4月は園内行事のみとさせていただきます。

# 第48回 インプラントについて①

歯を失った時の治療は、今まで入れ歯やブリッジが主流でしたが、第三の治療として現在インプラントが注目されています。今回はインプラントがどんな治療なのかお話ししていきます！

## ☆インプラントってなに？

インプラントとは人工の材料や部品を体に入れることの総称です。歯科では、歯を失ったあごの骨に体になじみやすい材料で作られた歯根の一部あるいは全部を埋め込みそれを土台にかぶせ物を取り付けたもののことを言います。



## ☆インプラントの歴史

インプラント治療の歴史は古く、記録では紀元前まで遡ることができます。現在に通じるインプラントは1900年代初めに登場しましたが体になじむ材料ではなかったためうまくいきませんでした。

1950年代にスウェーデンの研究者が“チタンと骨が結合すること”を発見し、1965年にチタン製のインプラントを用いた症例を報告しました。その後、優れた長期の臨床成績が発表され、世界中で承認、使用されるようになりました。日本では1983年に治療が開始されています。

## ☆インプラント治療のメリットは？

インプラント治療は、手術が必要である、あごの骨の質(硬い, 軟らかい)の影響を受ける、治療期間が長い、自費診療のため治療費が高額となる、などのデメリットがあります。しかし、残っている歯への負担がなく、自分の歯に近い機能や見た目の回復が可能である、などのメリットがあり、生活レベルの向上に伴い、利便性や快適性さらには審美性を求める風潮が広まる中で、それらの要望に応えられる治療と言えます。



部分床義歯



ブリッジ



インプラント

### メリット

- ・比較的簡単にできる。
- ・歯をあまり削らないですむ。

### デメリット

- ・バネをかけている歯に負担がかかり、歯の寿命を縮める恐れがある。
- ・噛み心地が悪く、硬いものが食べにくい場合が多い。
- ・留め具が見えるので、見た目が良くない。

### メリット

- ・健康な歯を削らなければならない。
- ・支えになる歯に大きな力の負担がかかる。

### デメリット

- ・固定式なので違和感がない。
- ・セラミックのような材料を使えば、天然歯のような審美性が得られる。

### メリット

- ・周りの歯を傷つけないですむ。
- ・天然歯と同じような感覚で噛むことができる。
- ・審美的回復も可能である。

### デメリット

- ・手術が必要である。
- ・糖尿病の方や喫煙者など、治療できないことがある。
- ・治療期間が長い